

予算の執行状況に関する調査

[議事録 4/8]

アベノミクスの達成目標

・平成23年所得再分配調査結果(H25.10.11)に対する見解

○吉川沙織君

それでは次に、今月10月11日、厚生労働省が平成23年の所得再分配調査というものを発表されています。

これによりますと、世帯の所得格差は残念ながら過去最大を更新、その分、所得格差を是正するという行為も最大となっています。また、若年層の中での世代内格差というものが拡大をし、深刻な状況になっています。ただ、この結果について有識者の見方というのは二つに分かれています。一つは、若年層に対する手当をしっかりとしますその中の貧困化が進むということ、もう一方で、再分配の機能が分厚過ぎるとこれはまずいんじゃないかという考え方。



総理のこの調査結果に対する受け止めについて伺います。総理に通告しています。

○内閣総理大臣(安倍晋三君)



詳細な分析が必要であれば田村大臣からお答えをいたしますが、お尋ねのこの所得再分配調査は、社会保障や税による再分配が所得格差にどのような影響を与えているかを明らかにするものであるというふうに承知をしております。

過去10年間の傾向を見ますと、社会保障や税による再分配前の所得格差は高齢

化の進展により拡大傾向にあります。再分配後の所得格差はほぼ横ばいであり、社会保障等による格差是正が図られていると、こういうふうに言ってもいいだろうと思います。年齢別に見ますと、直近では、若年層の所得格差が拡大をしている。これは注視をしなければいけないと、こう思っているわけですが、今委員が御質問になったのは、この所得再配分機能をどう考えるかということだろうと思います。

日本というのは、古来からお互いに額に汗して働き、田を耕し、水を分かち合って、秋になれば共に五穀豊穡を祈ってきた国でありまして、村で誰か病人が出れば自分のところのお米を持ち寄って助け合った国でありますから、そういう意味においては、それぞれの全て自分で責任を取れということではなくて、やはりこういう美しい日本の元来持っている、ある意味では所得を再配分していくということについてもそれは間違っていないという考え方も大切にしていける必要もありますし、同時に、全然何にも努力しなくても大丈夫ということになれば、人はやる気を失って、社会は活力を失っていくわけですから、このまきにあんばいが極めて重要であろうと、このように考えております。

○委員長(山崎力君)

田村大臣のコメント必要ですか。(発言する者あり)

質問、もう一度。

○吉川沙織君

厚労大臣、お願いします。

○国務大臣(田村憲久君)

今委員おっしゃられましたとおり、再分配前と再分配後で、特に高齢者に関しましてはかなり所得再配分機能が働いております。それに対して、それは効き過ぎじゃないかというような識者の御意見があるということ



であります。これだけ高齢化社会になってきておりますから、これは年金収入が入る前が所得再分配前でありますので、そういう意味ではうまく機能している部分もあるのではないのかなというふうに思います。

ただ、国民会議で、やはり高齢者に関しましても負担能力のある方々には負担していただくという考え方、それか

ら若年者、若年者といっても、これ実は35から39歳のところが若年者と言えるのかどうかというところはあるんですけども、その部分が格差が広がってきておるといってございまして、これはやはり、これは報

告書に書かれているんですけども、全世代型の社会保障、これをやっていく必要があると。それともう一つは、やはりいろいろと職業訓練等々を含めてキャリアアップをしていく、非正規で働いておられる方々は正規になっていただきたとか、そういうことをしっかりと進める中において若年者、中堅層の格差というものを縮めていく、こういうことをしていくことが大変重要であると、このように考えております。

○吉川沙織君

厚労大臣から御答弁いただきましたように、35 から 39 歳の世代の格差がどんどん開いています。もう午前の時間参りましたので、残りの質問は午後に譲りたいと思います。

○委員長(山崎力君)

残余の質疑は午後に譲ることといたします。
午後 1 時に再開することとし、休憩いたします。

午前 11 時 53 分休憩

続きの議事録(5/8)は、[こちら](#)です。